パリ弁護士会リーガルイヤー２０２３年参加報告書

２０２４年2月２１日
金塚彩乃

１．パリ弁護士会国際セミナー
日時：２０２３年１１月２２日
場所：フランス学士院
テーマ：「イランからウクライナ、国会の暴力、戦争の暴力、法は何ができるのか？」
　国際公法や ICC の元裁判官など、理論と実務の面からの、法と戦争のパネルディスカッションが行われた。

フランス学士院

セミナーの様子

２．パリ弁護士会リーガルイヤーのセレモニー
日時：２０２３年１１月２４日
場所：シャトレ座劇場

会長、副会長のスピーチのほか、パリ市長、元弁護士の司法大臣が参加をして、華やかにセレモニーが行われた。また、弁論大会の１位と２位の弁護士による素晴らしいスピーチも披露された。

今年は、また、法曹界に貢献のあった人を表彰する際に、フランスの法曹界の誇りであり、正義を象徴すると考えられているドレ最高裁長官（故人）の「ドレ賞」を、ドレ氏

の息子のドレ弁護士とともに、金塚が授与した。

３．IBA パリ大会パリ弁護士会レセプション

日時　：２０２３年１０月３０日

場所　：グランパレ美術館

IBA パリ大会に合わせて各国の弁護士が集まってきていたが、個別の参加だけではなく、弁護士会として参加している国も多かった。日本からは日弁連が参加をしていたが、個人的には、ブラジルの弁護士会の会長や、プラハ弁護士会の代表団との交流をした。アジアの弁護士のグループでの参加を多く見かけた。

グランパレ入り口

パーティ会場の様子

美術館を自由に見学できた

４．パリ弁護士会表敬訪問

日時：２０２３年１０月３１日１０時から１１時

場所：シテ島パリ弁護士会館

出席者：（パリ弁護士会）Amaury Sonet 弁護士、国際関係担当 Aurore Legrand 氏

（第二東京弁護士会）高畑正子弁護士、結城大輔弁護士、野瀬健吾弁護士、金塚彩乃

パリ弁護士会の現状と取り組んでいる課題についてご説明いただいた。

・パリ弁護士会の人数：３４０００弁護士、７万４０００人（全国）

・弁護士になるための説明

・女性５５．１％（１８０５５人　１４７３９人（男性））、フランス発の女性弁護士は、１９００年登録の Jeanne Chauvin

・パリは人口１０万人あたり１３１９人の弁護士

・弁護士参加のイノベーションを支えるインキュベーター
　現在弁護士による５つのリーガルテックが発足
　弁護士の職業倫理を尊重した技術、legal design
・預り金を管理するＣＡＲＰＡ（２５００万ユーロ、２０２２年は２１０万件を扱う）
・裁判所の国際化：商事裁判所及び控訴院での国際コートの導入。英語で裁判が可能
・パリ弁護士会が重視している価値：人権と連帯
・Programme Repit：世界各国で自由と安全を脅かされている弁護士を守るためのプログラム、一定の期間パリでの受け入れ態勢も整えている。
・Marianne Initiative：フランス政府のイニシアティブによる人権活動家を表彰し、勝郎をサポートするプログラム。パリ弁護士会も積極的に参加

・弁護士会のデータプロテクション
　２０２３年９月に専門家を迎えた
　インターネットセキュリティ
　サイバーセキュリティ